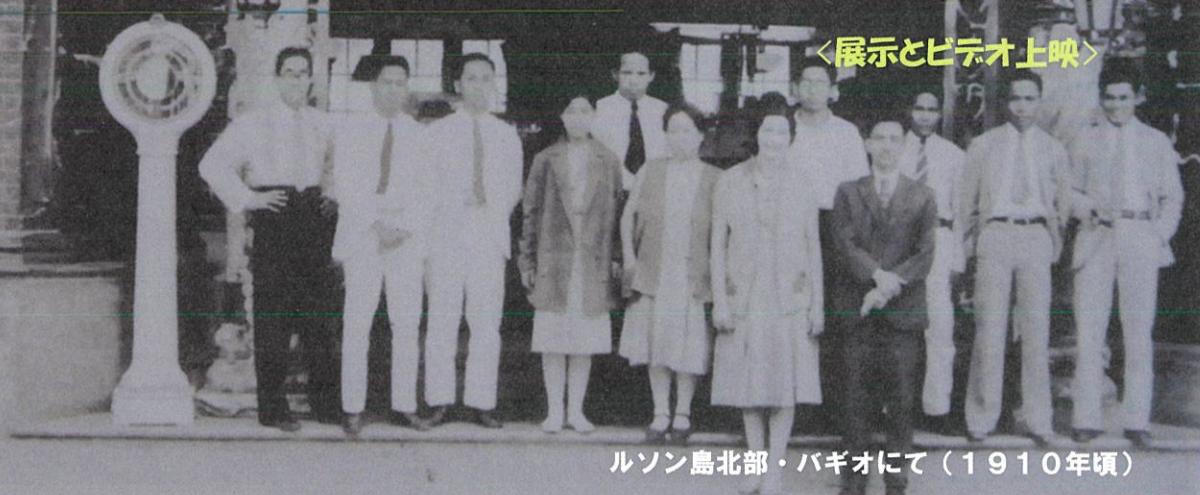


戦前のフィリピンに、豊かな日本人社会があったのを
ご存知でしょうか——？

「フィリピン日系人の歴史と今 ～彼らの終わらない戦後～」展

〈展示とビデオ上映〉



ルソン島北部・バギオにて（1910年頃）

入場
無料

戦前のフィリピンには新天地を求めて多くの日本人が移住、全国各地に豊かな日本人コミュニティが存在していましたが、太平洋戦争勃発によってその光景は一変します。フィリピン全土が日米の激戦地となり日本人コミュニティは崩壊、フィリピン社会は大きな犠牲を強いられることになりました。日本の敗戦後、生き残った一世は日本へ強制送還され、多くの二世たちがフィリピンに取り残されました。このフィリピン残留日本人たちの歴史と今を写真や映像、展示パネルなどでご紹介します。

写真と資料で見る“フィリピン残留日本人の歴史と今”

- 戦前の日本人移民とその暮らし
- 戦時下のフィリピンと崩壊した邦人コミュニティ
- 父親との離別と苦難の戦後
- 各地で誕生した日系人会
- 本格化した身元捜しと親族対面
- 日本人としてのアイデンティティを求める運動へ



戦前、ルソン北部のバギオやミンダナオ南部のダバオを中心に豊かな日本人社会が築かれていました。



フィリピン各地に日系2世とその子どもたちが残されています。

ビデオ上映 上映スケジュール：各日 11:00/14:00/16:00

- “ルソン島日系混血児の母”と言われたシスター海野の生涯を記録したドキュメンタリー『何か私にできること シスターテレジア海野の第二の人生』(52分)
- 日系2世寺岡カルロス氏のドキュメンタリー(8分)
- バギオ生まれのルディ古屋こと故・古屋英之助氏(※)によるデジタルアート作品『月夜の夢』(12分)

※古屋英之助氏…1933年バギオ生まれ。写真家の父は戦前のバギオの写真を数多く遺しました。ご自身も日本に引き揚げ、のち写真家に。戦前バギオの写真を集集、引揚者と残留者をつなぐ架け橋として活動され本年2月に逝去。今回は古屋さんの写真も展示します。

2019年5月17日(金)～20日(月)

午前 10:30～午後 6:00(最終日は12:00まで)

エコギャラリー新宿1階(区民ギャラリー)にて

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 2-11-4(新宿中央公園内)

共催：認定NPO法人 フィリピン日系人リーガルサポートセンター(PNLSC)
NPO 法人 サルボン

問合せ：PNLSC(03-3355-8861)もしくはサルボン(03-3843-0876)へ



- 徒歩：JR「新宿」駅から徒歩15分
- 地下鉄：大江戸線「都庁前」駅A5出口より徒歩5分
丸の内線「西新宿」駅2番出口より徒歩10分